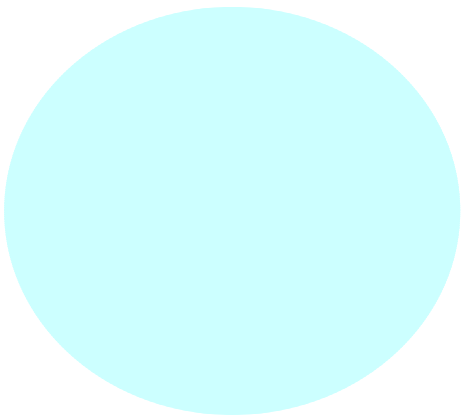


DT-950

Zero Config Patch Program



Version.3.00

Zero Config Patch Program の概要

本パッチプログラムは、DT-950 の ZeroConfig を改善し、運用性を向上させたもので、以下の項目を対応しています。

- 1 . 圏外 圏内の再接続が遅い。
Reset または OFF/ON 後に AP との接続に時間がかかる場合がある。
- 2 . CTLCloseEditContorll でメモリーリークを起こす

対応内容を以下に示します。

【概要】

圏外 圏内の再接続が遅い

Reset または OFF/ON 後に AP との接続に時間がかかる場合がある

【詳細】

圏外 圏内に入った後、再接続までに約 1 分程度かかる。

無線 LAN を有効にした状態で Reset または OFF/ON した後、通常 2 5 秒程度で通信可能になるはずのところ、約 1 分程度かかる場合がある。

【原因】

Microsoft 社からリリースされている ZeroConfig で、再接続のタイムアウトが長すぎるために発生。

【対策】

ZeroConfig の接続に関係するタイマーを最適化しました。

【効果】

1) 圏外から圏内に戻った場合の再接続時間

	パッチ無し	パッチ有り
平均 (秒)	53.9	2.8
最大 (秒)	64.3	5.0

条件 : 10 回平均

2) 電源 OFF/ON 時の接続時間

	パッチ無し	パッチ有り
平均 (秒)	10.1	4.8
最大 (秒)	78.0	14.0

条件 : 100 回平均
SS 無線のみ

【概要】

CTLCloseEditContorll でメモリーリークを起こす

【詳細】

CTLCloseEditContorll 関数と CTLCloseControl 関数を繰り返し 4000 回呼び出すとアプリケーションが動作しなくなる

【原因】

エディットコントロール作成時、内部でウインドウをサブクラス化しており、その中の WM_DESTROY メッセージ処理において、デフォルトプロシージャの処理を通さなかったため、デフォルトプロシージャによる解放処理が行なわれずメモリーリークを起こしていました。

【対策】

WM_DESTROY メッセージ処理において、デフォルトプロシージャの処理を通すように修正しました。